

| 番号 | 措置名 | 交付金事業の名称 | | |
|--------------------------------|---------|--|------------|-------|
| 1 | 地域活性化措置 | 水戸市英会話教育推進事業 | | |
| 交付金事業者名又は間接交付金事業者名 | | 水戸市 | | |
| 交付金事業実施場所 | | 水戸市三の丸1丁目ほか76件 | | |
| 交付金事業の概要 | | 英語指導助手による英会話教育（英語指導助手35名の人件費12か月分） | | |
| 交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標 | | <p>補助金事業に関する主要政策・施策 水戸市第6次総合計画（平成26年度～令和5年度） 3か年実施計画（令和2年度～令和4年度） 1 笑顔にあふれ快適に暮らせる「みと」づくり 1-1 未来を担う子どもたちの育成 1-1-2 学校教育の充実 ○水戸スタイルの教育の推進 グローバルプラン ・世界で活躍することができる資質や能力の向上を図るため、小・中学校でのオール・イン・イングリッシュ授業等を通して、会話によるコミュニケーション能力の育成に努めます。</p> <p>目標：水戸英会話力調査におけるA評価の割合85% ※英会話力調査A評価の割合：A評価取得児童数÷調査対象児童数×100</p> | | |
| 事業開始年度 | | 平成16年度 | 事業終了（予定）年度 | 令和5年度 |
| 事業期間の設定理由 | | 水戸市第6次総合計画の終期まで | | |

| 成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 評価年度 | 令和2年度 |
|-----------------------------|---|------|----|------|-------|
| 英会話力調査 A評価の割合 85% | 英会話力調査A評価 の割合：A評価取得 児童数÷調査対象児 童数×100 | 成果実績 | % | | 80.6 |
| | | 目標値 | % | | 85 |
| | | 達成度 | % | | 94.8 |
| 評価年度の設定理由 | | | | | |
| 毎年度の事業改善を図るため、事業実施年度末に評価を実施 | | | | | |
| 交付金事業の定性的な成果及び評価等 | | | | | |
| 交付金事業の成果目 標及び成果実績 | <p>令和2年度は、39名の英語指導助手の配置を計画しておりましたが、新型コロナウイルスの影響で来日できなかった指導助手もあり、最終的には小学校20名、中学校14名、義務教育学校1名、計35名の配置となりました。小学校及び義務教育学校前期課程では、いずれも国の標準時数を上回る授業時数を計画（1・2年生：30時間、3・4年生：45時間、5・6年生：80時間）し、実施しました。4・5月の臨時休業により、すべての時数を実施することは難しい学校もありましたが、国の標準時数は満たしております。中学校及び義務教育学校後期課程では、国の標準時数に加えて、英会話の授業を計画・実施しました。また、全ての保育所・幼稚園・認定こども園に英語指導助手を派遣し、月1回程度の英語あそびを実施しました。</p> <p>令和2年10～12月に実施した「英会話力調査」では、A評価を得た児童数の割合は、第1学年80.9%、第2学年81.2%、第3学年86.2%、第4学年78.7%、第5学年79.4%、第6学年77.9%であり、全学年の平均は、80.6%と、令和元年度より高い結果となりました。また、第3学年では、目標値である85%を超えました。</p> <p>令和2年10月に実施した「英語あそび・英会話・英語学習に関する意識調査」では、英会話の時間が「とても楽しい」または「楽しい」と答えた児童は、小・義務教育学校前期課程のほとんどの学年で約9割を超えています。また、全児童の約3割が学校以外で英語の学習に取り組むなど、英語に対する興味・関心が高い状況です。中学校及び義務教育学校後期課程でも、英語の学習を「楽しい」または「どちらか」といって楽しい」と答えた生徒は約8割おり、高い関心を示しています。保育所・幼稚園・認定こども園においても、幼児が英語指導助手に親しみをもって、一緒に遊んでいると感じている教員が90.9%おり、多くの幼児が英語指導助手の来園・来所を楽しみにしていることがうかがえます。</p> <p>以上のことから、水戸市立保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・義務教育学校の子どもたちが、英会話教育を通して身近な英語に慣れ親しみ、英語を聞く力、話す力を高め、英語による実践的コミュニケーションの基礎を養うといった当事業の目的に対し、成果が表れているといえます。</p> | | | | |
| | 評価に係る第三者機関等の活用の有無 | | | | |
| 無 | | | | | |

| 交付金事業の活動指標及び活動実績 | 活動指標 | | 単位 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
|------------------|---------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|
| | 英語指導助手の雇用量 (雇用人数(人)×雇用期間(月)) | | 活動実績 | 人月 | 465 | 463 | 351 |
| | | | 活動見込 | 人月 | 468 | 468 | 324 |
| | | | 達成度 | % | 99.4 | 98.9 | 108.3 |
| 交付金事業の総事業費等 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 備考 | | | |
| 総事業費 | 134,413,332 | 135,660,784 | 104,186,670 | 374,260,786 | | | |
| 交付金充当額 | 125,000,000 | 100,791,940 | 85,125,160 | | | | |
| うち文部科学省分 | 81,769,357 | 57,057,696 | 64,303,179 | | | | |
| うち経済産業省分 | 43,230,643 | 43,734,244 | 20,821,981 | | | | |
| 交付金事業の契約の概要 | | | | | | | |
| 契約の目的 | | 契約の方法 | 契約の相手方 | | 契約金額 | | |
| 人件費 | | 雇用 | - | | 104,186,670 | | |
| 交付金事業の担当課室 | 茨城県政策企画部政策調整課 | | | | | | |
| 交付金事業の評価課室 | 茨城県政策企画部政策調整課 | | | | | | |